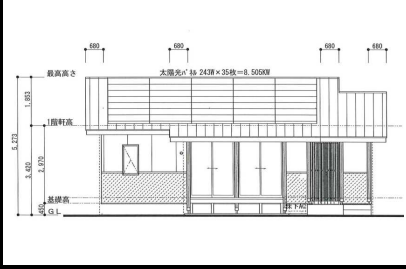


1-1 建物概要

建物名称		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2019年9月	予定	持ち込み家電等	仮
建設地			外構の仕様	仮
用途地域	市街化調整区域	確定	〈備考〉	
省エネルギー地域区分	6地域		サステナブル先導事業 環境効率 最高ランク LCCM5 つ星	
構造・構法	木造軸組工法	確定	評価の実施日	2019年5月10日
階数	1		作成者	竹割善志
敷地面積	263 m ²	仮	確認日	2019年5月10日
建築面積	111 m ²	仮	確認者	田中章三
延床面積	102 m ²	仮		
世帯人数	4	仮		

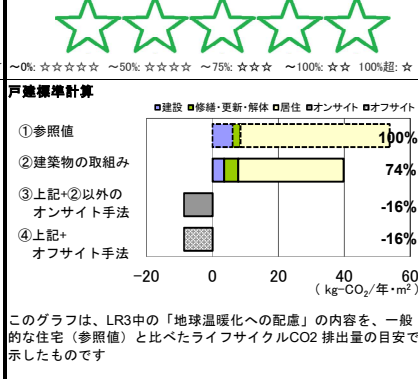
1-2 外観



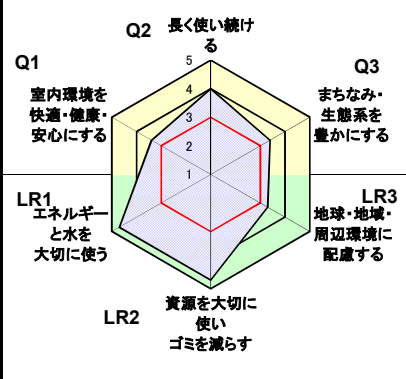
2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)



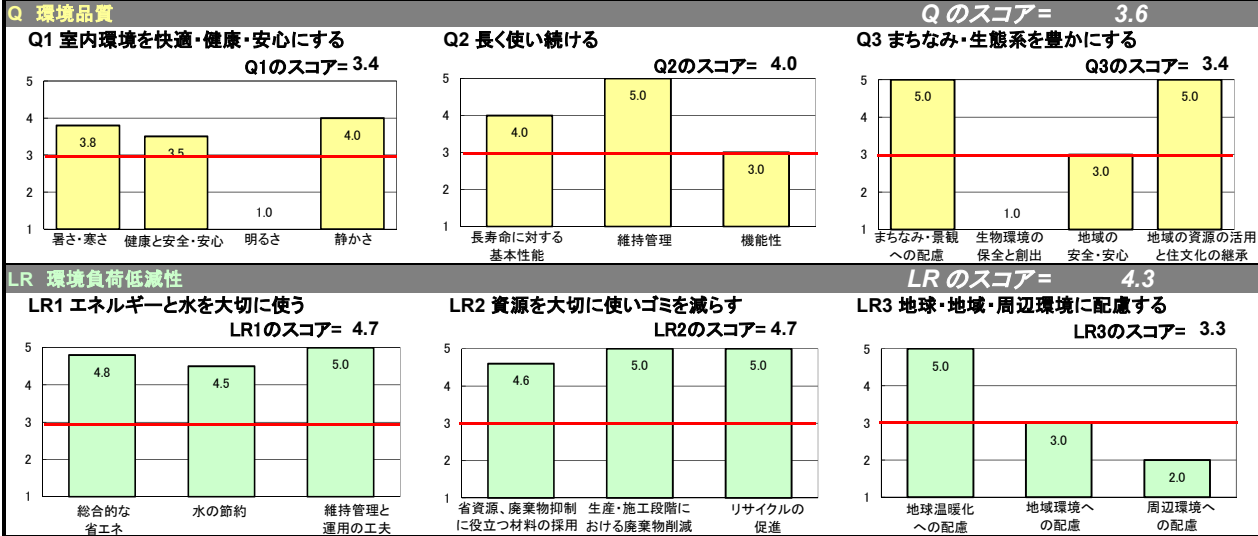
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>長期にわたり健康で安全で省エネルギーな居住に供し、LCCO₂がマイナスとなることを目指す住宅で、ZEHの上位概念とならライフサイクルカーボンマイナス住宅(Life Cycle Carbon Minus)です。</p>	<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>断熱性能をランクアップ外皮平均熱貫流率以上とし、IoT機器を導入して快適な温熱環境を維持することで、健康に暮らせる住宅です。</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>長期優良住宅で、維持管理体制においては、長期優良住宅の維持保全内容にプラスアッパした点検・アフターサービスを行います。長期優良住宅に基づく住宅履歴登録・保存・管理もっており、不具合が生じた時の追跡調査も可能です。</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>暖房設備・換気設備・給湯設備・照明設備を各物件ごとに適切に組み合わせ創エネ設備を含め省エネ率30%を以上とし太陽光に依存しすぎないLCCM住宅です。LCCO₂ 6項目については、特段の配慮をしています。また、HEMSを設置し消費エネルギーの確認のしやすさに配慮しています。</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>省資源・廃棄物抑制として、構造材には、持続可能な森林から産出された木材を使用し、外装材・内装材には、再生可能材料を積極的に使用している。廃棄物削減への取組みとして、構造材のプレカット加工、広域再生利用指定制度を取得したメーカーの材料を積極的に使用しています。</p>
	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>評価していない。</p>
	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>構造躯体・内外装材に、地域材の資源を活用し、住文化の継承につとめています。</p>